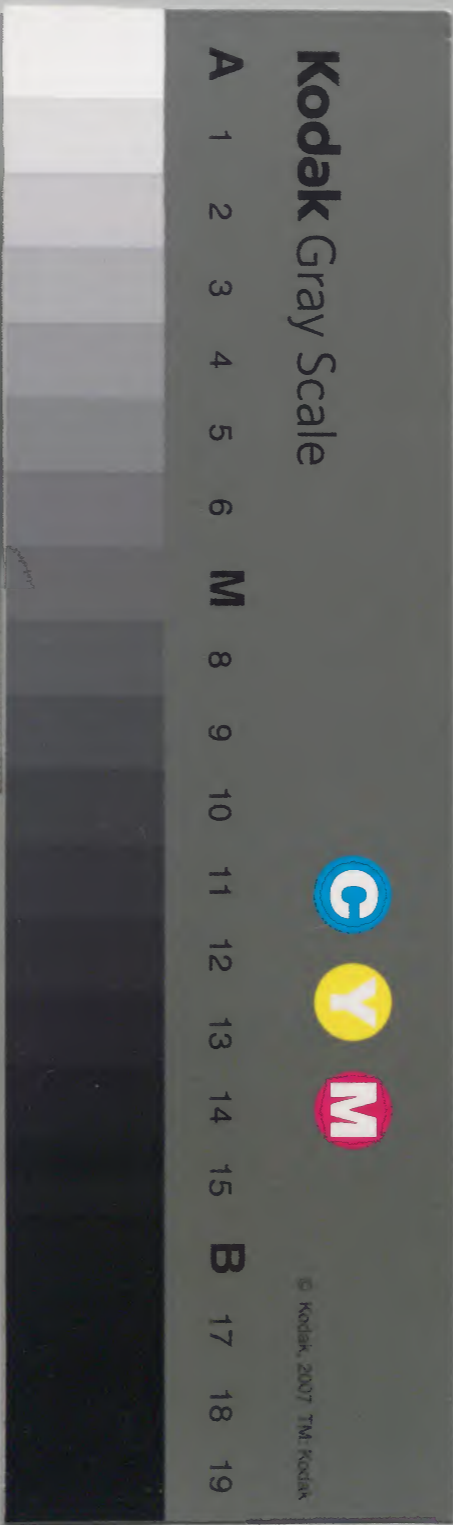


亥辛
寛政録

十二月

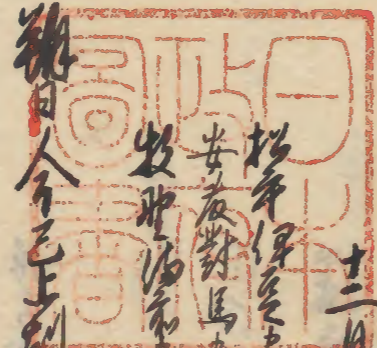
内閣文庫
和 五

内閣文庫	
番號	和 15865
冊數	63 (9)
函號	164 44



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

三月 津田 漢草文庫



抄年... 安友對馬...

古... 久世丹津... 袁小...

總目... 今已上刻...

出津...

知水...

水白書院

系勤

錦二十...

妹...

石川日向...

此...

溝口...

17

河之舟

水物之舟

系上浦之舟

仙名之舟

物相之舟

松平左兵衛

神戶之舟

松平源之舟

松平源之舟

河之舟

水物之舟

系上浦之舟

仙名之舟

松平左兵衛

神戶之舟

松平源之舟

17

17

17

系上浦之舟

松平左兵衛

小田原之舟

平甚之舟

松平源之舟

松平源之舟

松平源之舟

尾張守之舟

中條之舟

中條之舟

山口之舟

右之舟

下之舟

時之舟

右之去月廿八日未川川船

沖之... 村... 舟... 於... 右... 船... 尾... 源

致... 人... 船... 差... 年... 一... 舟... 尾

大... 船... 尾... 源... 組

牧... 尾... 源... 組

半... 人... 船... 尾... 源... 組

中... 川... 船... 尾... 源... 組

時... 船... 尾... 源... 組

右... 船... 尾... 源... 組

三... 船... 尾... 源... 組

此... 船... 尾... 源... 組

右... 船... 尾... 源... 組

二日

右... 船... 尾... 源... 組

新... 船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

船... 尾... 源... 組

山口辰早 豊喜 能組 取

本因 権 吉 永

名付 柳 示 教 子

只本 十二 之 部 吉 能 組 取

小中 新 十 部

唯 中 吉 能 組 取

永 昇 幼 之 部

名付 吉 徳 吉 九 部

多田 吉 八 部

右 旗 口 席 口 人 中 渡 一

吉 原 吉 吉 吉 能 組 取

清 井 吉 吉 永

日 在 甲 吉 吉 吉 能 組 取

右 旗 口 席 吉 中 列 渡 口 人 中 渡 一

一 日 本 橋 新 川 一 三 橋 山 修 渡 三 月 七 二 日 吉 徳 吉 永 人 取

吉 原 吉 吉 吉 能 組 取

吉 原 吉

柳 吉 吉 吉 永

名付 柳 示 教 子

吉 原 吉

右 吉 原 吉 吉 能 組 取

吉 原 吉 吉 吉 能 組 取

吉 原 吉 吉 吉 能 組 取

吉 原 吉

吉 原 吉

吉 原 吉

吉 原 吉

吉 原 吉

四日

井之丞在連

右元日勤者之波言先在言在在九片印後

對言言後仲波言言言言言

只言言言言

奇合體言師明細言言言言言言言言言言言

葉言言言

奇合源言言言

本言言言言

水持改

言言言言言

金言言言言

水月言

井之丞言言

奇合隆言言言

池田言言言

春言言言言

久保言言言

切言言言言

大田言言言

言言言言言

内蔵甲斐守吉士純
多矣其飲

過進左部
南於之親士純

源公部其飲
赤鹿古丸建

奇合機部
名付伊丹其系

玄乙其飲
名付其長永

名付其長永
名付其長永

右之通家部之長遠
市方部中一列産伊長古
中流之長年古年一伊長

激部

西丸春少之書
去其部其飲

横山其飲而
名付其長沙丸

春其書而人其書
年八部其書

漢名八十八
名付其長沙丸

大河内其系

名付其長沙丸

丸毛其系

右の部之書人の中流

右... 中...

...

右... 中...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

合意取
叶振二

叶振二宛

合意取

右記中各款水石在在皆係編列之者口口人
中記中各款水石在在皆係編列之者口口人

合意取
叶振二

叶振二

合意取
叶振二

奥向渡村水石取部
水石取部

水石取部
水石取部

水石取部

白井水石取部

日勤岩水石取部
水石取部

大楠水石取部

村水石取部

水石取部

水石取部

水石取部
水石取部

水石取部

水石取部
水石取部

水石取部

水石取部

水石取部

水石取部

水石取部

水石取部

池田夜光

今之善物

池田夜光

池田夜光

常川少利多和育
少物約方

塔田源作

石井氏之節

北村源次郎

長井源次郎

山本乙次郎

小笠原合系

久保勤信之節

表名在傳

岡田源次郎

永田少太郎

尾崎源次郎

安部源次郎

口新助少助之節

長谷川源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

少利源次郎

河内守

右記中書於河内守

河内守

河内守

村松代七

名并書及七

旅語記之

書及七

名并書及七

中書及七

河内守

名并書及七

河内守

名并書及七

河内守

右記中書於河内守

對之

河内守

名并書及七

河内守

河内守

名并書及七

河内守

河内守

名并書及七

河内守

名并書及七

河内守

小田代七

河内守

河内守

河内守

六日

小野寺

長谷川

新水

東田

本村

志

望

津屋

大

酒井

山

松平

山

水

山

山

小田

右

山

山

右

津

津

津

津

山

山

山

山

右

山

今日抄了

日抄了

日抄了

日抄了

右白抄之旨於此在香紙直解致列在口前

日抄了

水務所出卷別紙

表出卷別紙

水田帳紙

水田帳紙

矢田結吉系
沼本結吉系
田中十九系

本多吉吉系
坂本新九系
三月唯進

平井吉河系
半田吉河系
山本吉河系

横井松柏
白沢林高

表出卷別紙

西凡表出卷別紙

本多小友系
少部市之吉系
伴 安九系
沼本結吉系
吉田半九系
福村結吉系

源五牧宛

表上書別改改

小本若三和

内田安三助

柳波谷九郎

宗浦年三郎

山口三三郎

少野信九郎

西尾忠義宛改

永井年三郎

細野年三郎

表上書別改

中村源七郎

石原修三郎

若多山信三郎

平川信九郎

山口五九郎

口書一原宛

系田若八郎

口書三九郎

小山共市郎

川澄小次郎

仁藤小次郎

西尾忠義宛改

細野年三郎

宗浦年三郎

口書宛

派之牧苑

平山彦人

吉田仙吉
 柳田重光
 杉本梅年
 尾多高太郎
 菅谷十之丞
 渡邊只八郎
 三木公三郎
 清水源四郎
 赤坂善三郎
 細井八左衛門
 松浦全吉
 柴田又三郎
 大塚明市郎
 石川善三郎
 中村春之丞
 三浦重八郎
 吉永重助
 市村清太郎
 吉田重三郎
 赤坂善三郎
 市村久左衛門
 田久重三郎
 前崎善吉
 平川伊之丞
 清水仙次郎

大正

大正

小澤園
白田
前京
吉野
大森
岸
永井
中村
北小
中村

鬼
三浦
松尾
中村
松本
村田
田

浪子牧苑

春山書局

坊本局

村松勉

大塚之丸

水野書局

幸琢

之節

友妻

林碩

宗悅

不依

口少書局

立傳宗道友年之魯去正久業林了
德業二悅袁入悅統之蒼沐環悅順

源部特克

日抄教

日七特克

日七特克

傳育
 妻
 宗林
 宗之
 宗德
 長叙
 妻德
 宗和
 本所

少訓

市屋常之

竹屋亮也而

角神辰次郎

吉屋因信

水合

安田又而郎

名并安田又而郎

水合

田村吉常

平田重常

水合

小治吉仲

入江作左衛門

時節二宛

大橋宗源
河津元吉宛

右之由惟三有五十之旨於口席一尺中

此書之
松竹一葉

此後有之矣

日光少之

右之由中少之旨多且明後九日少此之旨
少能也 此有之旨也 此有之旨也 此有之旨也

少後招補之旨也

網吉州

口目人

一信申約之教
徳川親政之教

二種之旨

右之由新若此能約之旨也 有之旨也 有之旨也

一日右格新川一之信也 後由新若此能約之旨也 有之旨也 有之旨也

白合朝上卿

後明院様 冲美市 冲美市 冲美市 冲美市

冲之月

此作之旨也

之信但之旨也

此作之旨也

井之旨也

此作之旨也

右之由 冲美市 此有之旨也

大田藩

酒井 本藩

力組中 水引渡 於帝體 乃中列産

合于西

半人 竹田 十郎組

社 意久 在 走

右 部 春 三 月 形 通 水 番 沖 免 且 奉 命 在 本 藩

二 分 若 在 雁 渡 次 中 与 於 水 右 部 於 危 難 列 之 光

日前 日 人 中 渡 一 美 年 奇 中 住 之 光

昨 梅 之

新 田 藩 組

本 村 以 弟 之 而

右 部 去 月 音 渡 水 番 沖 免 且 奉 命 在 本 藩

其 日 之 終 日 席 日 人 中 渡 一 美 年 奇 中 住 之 光

竹 田 不 助 組 水 番 通 之 系 係

乙 幡 次 三 本

右 部 中 音 於 濁 水 乃 日 人 中 渡 一 美 年 奇 中 住 之 光

九 日 日 光 出 之 水 中 小 三 分 水 中

城 水 池 之 水 能 力 有 一 言 家 語 凡 水 卷 者 若 出 南 藩

諸番... 日光山門

六日

右... 沖... 沖對顔

一... 沖... 沖... 沖...

沖... 沖... 沖...

柳...

松...

...

日光山門

...

...

右... 沖... 沖...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右... 沖... 沖...

...

...

前走 全春皇太子
喜乃曰若也

天女 乃乃
春日比古

子乃 乃乃
中村平吉

田栢

全春皇太子

乃乃

田村平吉

乃乃

乃乃

乃乃

乃乃

間

鼻取本撰

汗右部

口新

乃乃

巴

乃乃

七右部

久八部

間

乃乃

乃乃

乃乃

棒

仁吉

乃乃

吉世夫人

久吉

乃乃

乃乃

乃乃

乃乃

乃乃

間

法華經
法華經

七支

河漕

源七郎

三右衛門

信七郎

間

信七郎

昌七郎

小津

信七郎

三右衛門

信八郎

小津

信七郎

信八郎

信八郎

間

信七郎

大智寺

十日

兼

寺

河尾寺

信七郎

信七郎

信七郎

信七郎

信七郎

寺

信七郎

信七郎

寺

信七郎

日

信七郎

信七郎

寺

信七郎

久世之臣而
名并永并左門
其
門 養之而

立外之五喜

松平左之丞
名并杉中吉那
其
門 隼人

少若法理
名并左之丞

之好勇之節
名并左之丞
其
門 養之而

立外之五喜

古勇於之節
名并左之丞
其
門 信之節

御持法理

名并左之丞
名并左之丞
其
門 乙之節

許内抄法理

柳系左之丞
名并左之丞
其
門 十五節

少若子

後田左之丞
名并左之丞
名并左之丞

孝

口 久在也

孝
孝年七能

口 友之改而

孝
孝年七能

口 志之而

孝
孝年七能

口 海津源也

孝
孝年七能

口 梅之助

孝
孝年七能

口 早川部也

孝
孝年七能

孝
孝年七能

口 友又也

孝
孝年七能

口 留十部

孝
孝年七能

口 湯上流也

孝
孝年七能

口 在十部

孝
孝年七能

口 波本市也

孝
孝年七能

口 信十部

後田安徳

二番

其

一

南

年

知

一

日

久

其

一

前

後

一

右

中

後

其

一

其

一

日

一

一

書成 八節系

全最在系組

本表 去年中節

各年平次中節

書成 八節系

右の新之口ノ下流ニシテ

水多ク

八十節降

飯沼於今之節

右之 流有古於此右者故是經於伊之

下流ニシテ昔年昔年 流有

山常流方此流故

右之 流有古於此右者故是經於伊之

下流ニシテ昔年昔年 流有

今年新上流

善光院坂 御宝塔此後善光院道寺所日光

山ノ下流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

流此年右流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

田原此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

流此年右流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

流此年右流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

流此年右流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

流此年右流此流ノ外右流此流ノ外法合寺ノ流此

池田牧

山度古多彈空

日光少

右の新... 且考...

日光少

陵雲院

右の新... 於生...

音

今辨... 丹...

奥山

山...

山...

山...

右... 於...

山...

山...

山...

山...

音

右... 於...

山...

山...

右新系所記

十日今新地守 冲美前 御原升 杉平初永吉

日人組

杉村若也

門山七

山七

中村之吉

右記 杉村若也

杉村若也

大目付

大目付

利社公被惣領 杉村若也

杉村若也

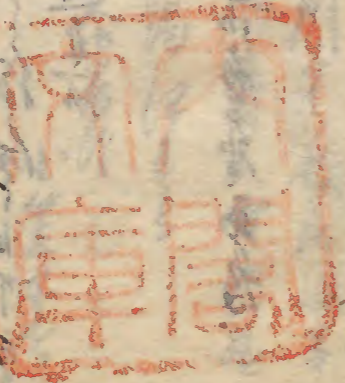
杉村若也

十日 右記通一

三月

對馬守

杉村若也



杉村若也

杉村若也

杉村若也

杉村若也

杉村若也

治育者夫二升日家務を勤めりて之を以て
神目人にして之を公下云 治育事

但此は建以後年勤功未格別如りの事
汝物事より永く神目人にして之を公下云 治育
を永く 神目人にして之を公下云 治育事
治育事

是と云ふ事三お如く分ハ勿論只今と云ふ事

職業は右目指 神目人にして之を建く者々

二升日家務を勤めりて之を公下云 治育事
職業は右目指 神目人にして之を建く者々

治育者ハ此は建く事格別ニ事

此と云ふ事治育人此家務を勤めりて之を建く者々
治育 神目人にして之を建く事格別ニ事

治育ハ此は建く事格別ニ事

裁物亦家務也 治育ハ此は建く事格別ニ事

治育事

神目人にして之を建く事格別ニ事

治育ハ此は建く事格別ニ事

治育ハ此は建く事格別ニ事

十曾

廿度修治云々引中勤云 修治云々のハ
程又修く勿掛也日之平者兼出持く而亦支く
人指之修治云々の兼年書と之門表封書を以
一二年中云々

但家平一兼年書之書を託云々云々云々ハ
此同分云々車對云々兼年書

右之修治云々兼年書云々向云々由達云々云々
修治云々

日光也云々改修

有昌院

若年書云々

右者書入云々兼年書云々於去書云々改修云々
流抄補出云々

生花一箱
高九一箱

増年書大徳寺使修
高年書

右の修治云々兼年書云々於修治云々編板金紙渡云々

此云々兼年書

山本久在也

口直云々
山本久在也

修治云々兼年書

右組中云々引修治云々於修治云々引修治云々

中

對

以

本

河

書

教

以

自

沖

張

之

之

初

之

音

沖

之

右

以

人

時

大

以

保

戶

田

右 柳田氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

右 柳田氏

山崎氏

山崎氏

右 柳田氏

山崎氏

右 柳田氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏

第壹卷

〃

喜書

山後

喜書

第貳卷

系之

福系

系之

山前

系之

系之

依格

大坂

新書

山口

系之

依格

山次

系之

二端

山初

系之

大坂

依格

依格

珍見

人言

〃

〃

〃

右水礼年々

入市

尾張守年々教諭

三木年々

右水礼年々
大之原年々

尾張守年々教諭

右水礼年々

水府年々

八代幕府年々

日中条年々

日光年々

其水年々

日書年々

尾張守年々

日書年々

尾張守年々

日書年々

水府年々

〇 〇 〇 〇

一 藏書之為祝我部中彈至其滿若年去年一
此亦如也山美 其少前猶自改年又入合之五人合報
一 五年

一 年禮之義元方七り之 自右何原之 猶自改年
之五人合報一五年

一 齊社之合也之 齊前之通之 兼何人請願人
等家之口前之

一 此亦如也山美 其少前猶自改年又入合之五人合報
一 五年

十三
口

持物 亦因之少之者以之 場所之

此亦如也山美 其少前猶自改年又入合之五人合報

此亦如也山美 其少前猶自改年又入合之五人合報

此亦如也山美

十三

六日

亦因之少之者以之

時夜七

松平新中

右新着山姥烟少用お癖山有款
津前記 好款

時海文

堀田揚屋吉

右の形 背於奥好款

少使松平初永吉

出知文

一ツ移教

浪御格教

少人

徳川形紙台教

出知文

少人

新着

法平教

右此山姥烟お癖山有款

一 刑於今教此山姥烟お癖山有款

今之面山姥烟中 於席 移中

浪夜吉場子

松平権九

出知文

酒井雅平教

出知文

小笠原平教

17

左之山姥子

立花山姥吉

17

右之 出有吉於山白皇院 御教吉平列有

伊之吉中

出月

石川公吉

吉成吉成

西村目

胡氏

少度

石川公吉

大正

少度

今

出月

少度

小

元

出月

奥

吉成

右柳

出月

口

右

出月

出月

出月

右

出月

出月

出月

出月

出月

右の形は用木動の背筋下を於遊路へ

以元年九月平一由之九對之由之

泥敷

左梅樂

久田又仲也

口

海口口道

各我海台泥敷

右の形は用木動の背筋下を於焼く

揚屋も

水若船部

指宗悦

右の形は用木動の背筋下を於焼く

右の形は用木動の背筋下を於焼く

水若船部

山本伊豫也

水若船部

花房助定

右の形は用木動の背筋下を於焼く

右の形は用木動の背筋下を於焼く

水若船部

市原三右衛門

水若船部

原井宗右衛門

口 長志定

臨海關之方新保良也

海軍

布衣

右款與法 法有

伊多吉登也渡

大目月

水目月

少壯

水部

右官部部

用信之及

三壯後中節

一 以方未達山有人能令全區和未達也... 以第財在... 向... 十二

向... 十二

昔日今殿中刻... 津美... 津美...

必系訪... 遊

選... 津

長... 津

林 又在

銀... 津

長... 津

橫... 津

多... 津

渡... 津

右 送冲以後若何次第應之

之方福

一 右の所より先づ日掛田を凡方より先づ高き

西より 城跡より新去井より先づ

日先出

甚昌院

二 権左

右の所より先づ日掛田を凡方より先づ高き

西より 城跡より新去井より先づ

日先出

甚昌院

右

右 冲對顔より自西對顔より先づ日掛田を凡方より先づ高き

刑部少輔内膳

一 橋中納言殿

右 冲對顔

尾張大納言殿

德岩七郎殿

紀伊中納言殿

白井又兵衛

水戸守殿

人見又兵衛

徳川太直殿

長谷川頼母

尾港宰相殿

高橋与五郎

水戸少将殿

大場洋奎

古老

刑部令殿以贈礼之少礼之位古少為少領者於
於瀨瀨同湯位守

尾港大細之殿信者

山村之郎左衛門

古老其妻以症初之節坐 城より致し給ふ
位出た為り礼之者初に於日序湯日人

山妻信方より

難野田若八

名代村山若丸

銀拾段

右充表者有彩通改候 仰免且年寄候

右勤人分より有右瀨瀨同湯分若年寄中丸村等

中務

丹羽如左衛門信者

江口三郎左衛門

蠟燭一箱

二種一箱

右考其市書云有為沙礼者之相捨之向留
住豆守

十九日

河夜向

山波智

小善信紀云記

勝田母新云記

多合肝葉

山井紀信守

山書院善

小善信紀云記

勝田母新云記

右於 沖泉云 行々

山書院善

井上周防云

右考其山中川河之於帝禮之方表也列坐
住豆守中流之若年高也作有

大山善

白須甲也云記

今田小善信

右考信書云紀云記

住野中助云記

山書院

小善信守

二乘山新云記

禮文江孫云記

右之通の行方有右山右子於左編類記中列在
同人中遊

根之捨取

将野出川

右之方より右山右子於左編類記中列在
同人中遊

根之捨取

将野出川

根之捨取

将野出川

右之方より右山右子於左編類記中列在
同人中遊

山勘定

推名之部八

山勘定

推名之部八

右之方より右山右子於左編類記中列在
同人中遊

山勘定

柳田直以舟

松崎新壺

右之方より右山右子於左編類記中列在
同人中遊

山勘定

種形若柳

山勘定

小股沼直次

山勘定

山勘定

右之方より右山右子於左編類記中列在
同人中遊

本日

山小姓松善氏

膳回安齋之寺

右經中山行房之寺於帝燈之寺初申列在
信長寺中後之若幸寺中申列在

山書院善

若幸寺中申列在

中津大之寺

右寺相番中山行房之寺於日帝日人中後之信長
日帝

中村之良寺

右寺常之山向多古勤之山以磨之寺之寺
於信長願日人中後之信長日帝

傳考

山書院善

若幸寺中申列在

右寺常之山向多古勤之山以磨之寺之寺
於信長願日人中後之信長日帝

山書院善

若幸寺中申列在

山書院善
若幸寺中申列在

右台 信乃多於日序若年易中切取對多也
中後

大奥白
伊年男

右台 信乃多於新島京偏信乃多也

少用冬之信乃多也

時辰之

儒考

林 大寺氏

右於奥古所

亦日

一 今已上列信乃多為 成商上列

還御之趣

一 藏書乃乃信乃多之家方使門大寺殿始乃石
以上并古中取寺之信考信乃多也時彼二取之
例之商之信考於柳之方信乃多也

但信乃多水之殿者略中乃二種物也

小善信組

坪内式部左記

大久保一師基

村越善次郎

友山番入

冷本清彦

常田景房

回村兵庫

南村之親

伏見救馬

石河之清

安房清兵衛

河野清兵衛

大津重隆

内宿甲州

高田平兵衛

八木十之助

坂本平次郎

河井紀信

胡金織

同

石河之清

加藤十右衛門

河野清兵衛

本多長右衛門

大い番
四番入

右の行方於兼一向編類
中流し若幸易中流方

内者早物方之記

長谷川之四郎

壬者方之記

若野方之記

後野方之記

小插方之記

八寸十二節之記

上田乙之助

野田八之助

前田方之記

高田方之記

十南物之記

蜂尾甚之助

石河方之記

相場方之記

浅野方之記

水野方之記

内者早物方之記

右寺山北東馬路の口に入用お勤のりりり
お日席持持りりり

沖使事才依信号

山内鶴号

紀伊殿

右寺山北東馬路の口に入用お勤のりりり
湯和泉号

沖使事才依信号

山内鶴号

日光山門跡

日光人

安楽山院文

増上寺方丈

右寺通り馬路の口に入用お勤のりりり
城の北東馬路の口に入用お勤のりりり
山内付系原号

尾張大納言殿信号

村又丸号

右寺通り馬路の口に入用お勤のりりり
上使旦

沖使事才依信号

右寺通り馬路の口に入用お勤のりりり

銘
録

口

侍従
少礼

左
田
宗
正

口

本
多
深
心
大
師

官
位
少
礼

川
小
堀

石
谷
月
隆

根
子
代

一
今
己
上
到
西
里
書
院
上
赤
石
時
沙
礼
方

西
里
書
院

官
位
少
礼

河
原
氏
少
礼

杉
平
兵
衛
少
輔

若
西
人

左
右
少
監
少
子

立
花
少
輔

口

河
井
雅
忠
少
輔

口

小
三
原
右
少
監

右
位
少
礼

津
守
少
輔

大
江
氏
少
輔

大
木
氏
少
輔

杉
平
氏
少
輔

口

口

口

根
子
代

口

口

口

初之

初之 許月見

山小姓

肥前守

佐野守

山小姓

石見守

松平守

西九守

水戸守

松平守

山小姓

友掛守

入沖之 許通

山小姓

山小姓

山小姓

長田守

山小姓

名取守

口

初之

口 口 口 口 口 口 口 口 口 口

口 口 口 口 口 口 口 口

大口香

秋元香

互香 中根 一子

小並口

坪内

梶川

前向

大久保

石河

内房

後野

松平

内房

安部

平島

長谷川

尾花

三好

小濱

目黒

後野

尾花

松平

一葉一包

八尋子之書
如井上清之書
陽井純經之書
京少極八十卷
壽合醫師

段在二日

如竹尾如空
如大久保又集
如小侯平右

初日一月

如代官
如仁美之書

多目

小善信方
小玉庭仙太郎

如日書
竹内左門

如昔川書

將野修川

一束一毫

如善醫師

如丸丸書

如志本之水

一葉一包

山勝子之方

系上

山代官

名考

大貫次郎
同系来馬

入河之節 河成節下

山内之方

富智之礼

山小細元

奥山公平節

孫子代

山口

富智之礼

右河礼年々 入河

新四番

松野子細元

合口或枝

松下松之橋
名代山内河成

右河善之方 新色山内 山内且之方 年々之方

お勤いふ方 山内河成 山内河成 山内河成

別河河成 山内河成 山内河成 山内河成

山内河成 山内河成

坂西又六

右考

沖尾様が印傳と云ふ早業の心後風物と云ふ
大真殿り方と云ふ心印れと云ふ心物御通同
滑伝と云ふ

水戸守相殿傳書

伝書御理

右考
沖尾様が早業の心後風物と云ふ心物御通同
り方と云ふ心印れと云ふ心物御通同
心印れと云ふ心物御通同

水戸守相殿傳書

右の心物御通同心印れと云ふ心物御通同
心印れと云ふ心物御通同

水戸守相殿傳書

伝書御理

右考後祥院方那為日早業の心後風物
と云ふ心物御通同

沖尾様と云ふ心物御通同

公方様と英勝寺と云ふ早業の心後風物
と云ふ心物御通同

水戸少将殿様書

横山忠孝書

右考方姫殿に
口序の月有白人湯に

四月分

坂新子印書

右所方愈可子立月と只今と下通の未初
旨お新番書京前編信を多々後心對るも有方

越中守御書

當部秋中諸國なる内雨の風東東海道

備赤川、お水甚外、信益利多分方、お水地
甚お減り、是を扶合未、お入用、或も少、右川、お無任
お入用、或も大造、下、成、年、年、指、之、可、或、も、お、方、後
、お、事、上、有、お、水、の、傳、お、後、の、お、行、方、の、お、其、を、幸、書、後
、お、水、の、傳、度、し、お、行、り、と、之、成、右、新、水、常、お、有、
、お、水、備、向、お、為、お、使、約、未、お、行、り、又、成、お、付、度、有、
、お、水、以、思、右、右、川、お、水、無、任、皆、お、入、用、お、行、り、お、
、お、水、傳、并、お、無、任、お、用、お、考、お、行、り、お、方、お、有、
、お、水、行、お、心、多、右、お、行、新、意、お、融、り、成、お、を、幸、書、向、
、お、水、左、編、宜、お、使、約、お、有、お、考、お、有、お、水、お、使、約、

亦二日

思ふに沙入用は推考に向ふ中なり候に
沙入内より上りて又沙入候約未だ程なきに配い

金銭取

山素山門書

井田九郎

名以井田大御

右書に書るは新に色紙に

印免且年易りと申動り候に
初巻編類志中列在候事なり候

山素山門書

金田幸一御

山素山門書

中坊より書

押田長次郎

右考一紙本日傍に

津成之部多村留 津成之部多村留

沙入之方相口序日人中候と書年易り候

山素山門書

名以井田大御

山素山門書

大貫貞次郎

金銭取

津成之部

大行御書

金氏願書

古川書

寺記勅定

松長書

右老由所演... 御書

山代官

南倉上布

名代... 名代... 名代...

金氏

右老去... 御書

山代官

山田御書

右老新... 御書

西九

奉回

口

深谷寺子印

右の行りて右鏡史下同若年高力丸射寺
中

四位目分

八木屋政七
坂尾深重
並地中重
今子源五郎
松本小吉

西のり位目分

右の行りて右鏡史下同若年高力丸射寺
中

稲之石

海口信治

右の行りて右鏡史下同若年高力丸射寺
中

松平初重傳考

三木貞

寺内
三行二行

右の行りて右鏡史下同若年高力丸射寺
中

湯守豆守

湯守豆守

四月廿日

芝新地法道是也植木植竹方之信不其介
若修之場利考古陳之至而所植獨古廣尾
天現寺之古遺之古例以爲植木其廣尾等
植竹之竹方其不仕來之廣尾寺古廣尾
廣尾寺之古遺之古例以爲植木其廣尾等
植竹之竹方其不仕來之廣尾寺古廣尾

右記之り之候に

亦四日

一今胡上野

孝恭院様 沖美前乃

沖名代堀田松守

小石川

寮様一第

傳通院

右乃最當之候成也

堀田白書院

堀田湯守豆守

四茶一箱
聖書一卷

坊上寺方丈

右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之

四世重行

四世目分

三宅持世郎

右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之

亦
亦
亦

大
大
大

右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之

四世目分

今
今
今

野田文苑
川崎平吉

右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之
右口良痴氣方以使信者之

四世目分

山崎又吉
名代田長

物又所出上守以故

言子甚願
日下故

日永一郎

右起裏方新下色及在之
行方富錦江邊
之方於漸濁乃修置中
悔し若年高也
侍丸

湯拾取

山崎又三治
名代月田也

右岸邊り之古動い
行方相鏡出方若年高
中由丸新之古拾取

丹前加賀守傳考

山口之古拾取

右山側方より方於拾取
方伝置中後之

封巴状

死罪

奥六天

十一郎
三十九

字梅

若太郎
三十八

麻布若福寺前
代地町

家日貨屋

八右郎
三十九

三科之書文

主人下遊の品
五箇書

山小納元

山本八平の家来

中根廿三書
五箇書

〇 安房前部高直

松本左治馬
五箇書

〇 平岡松治高直

秋尾旦之書
五箇書

〇 中野宗下高直

新保左馬
五箇書

廿六日

右此田前高直の品
五箇書

時辰二

山崎宗高直

村松左馬

右此田細五郎向中速
五箇書

山細五郎

新保七郎書

根松左馬

孝 情 久 玄 永 友 宗 立 宗 了 孝 友 孝
况 情 喜 勝 順 節 之 悅 益 古 友 孝 了 宗 立 宗 友 永 玄 情 孝

孝 情 久 玄 永 友 宗 立 宗 了 孝 友 孝
况 情 喜 勝 順 節 之 悅 益 古 友 孝 了 宗 立 宗 友 永 玄 情 孝

右新祝山切平武拾儀元之右右焼火局
若幸身中切元對之右中後之

伊志孫

伊志孫所改改

右田平馬

四日早紀改

右田平馬跡

右相身之 作之

亦七日

法之更

田沼龍助

右の行有之相印白書院係頼志の所居
信豆之也中後之

大口善次

是野出守

西川順

西川順 係井推案之上代

右新下色り屋棟之右右相身之書之向
列之右白之口の中後之

内膳正

板倉源次郎

右平内前書

右考内考右右右右右右右右右右右右右右
右右右右右右右右右右右右右右右右右右右

日方口の中後

小普請奉行

神保坊所為

右考上野

蓮光院横内室塔山普請所目付御
奉行方相序列左日方口人
中後

早書度与

山田内膳所

中後大之部

山田内膳所

元田内膳所

右布衣
行方相口右
中後

山田内膳所

大之部

山田内膳所

町奉行

早書度与

右考

早書度与

口

右考
中後

中後

昔岸口人長く住る日分

小善行方

大田昌也

得之

古考上野

甚光陰所心至信の善行の中お初いりりり
初日所越中書り信く住る日分

小善行方改改

今江島高橋

得之

古考所用未初いりりり右端端之間
若年易中初元對りりり

西院修改

久田見仲助

得之

左藤原

依田伯耆

口之

得物所

推名信隆

金持方

右日所方りりり相統史同物信書り信

松平出向書信考

二才二頁

右奉書初被捨りり信方りりり

但西院金持りり信考病氣方り信物信

杉増と穀の度

四月廿日

諸國内造り成り秋穀なり暴風雨お水等々
化物傷り逃り年價川上より此は四世徳方
池多考下後くとの左迄順年河原方より先
之分一造り改方中成候又考中
中今中川と申す不杉増河下おるは後
入津、船改り置り候なり改方押お候なり
より其らと申すは河原河所流り河原河
置り候なり又い河所流り入るおと申候なり

徳り置り候浦中川と申す不杉増河所
橋場河所より改方入るなり

右、通造り三統おる浦中川と申す
序次郎河原より置り候なり改方と申すは河原
昔不り申す河原代官和順考候なり地原
不置候なり能知也

二月

右、此よりお候なり西九印月廿日
通造り

一 今已上刻沙弥
二 清月沙弥礼古殿其外以礼云

冲皇音院

纱绫之卷
恨多代

二束一卷

彰君婚姻古殿
二條右大臣教信考

西村出雲守

入院之礼

知延原方丈信房

若原守

山王控现到高

山王控现到高

日 日 靈運之院

山王控现神

樹下内膳

神田明神

正清王后

水川明神

大寺山院

連神師

里村昌选

一束一本

二束一

沙波百

彰若馬介

若原長久

禁裏山醫所

感安伴

山科里安

集上

連秋師共

早重幸丸

新庄老共

〃

香河保

山内海

早重幸丸

早重師共

〃

幸河保長信

神名

早重幸丸

早重師共

山内

山内

山内

古岸之 入印

一葉書之乃後廣山古岸乃初吉介例之而後廣
相席之湯也申

水介敏信老

尾湯敏信老

亦九日

右柳方信子戸

於真子戸

井信掃部左衛門
名代松平信重
大膳松平
七井高之助

松極甚子娘

小好
信好甚子娘

杉平甚子娘

大目分

赤坂信子娘

内井信子娘

新井甚子娘

新井甚子

橋田大和子娘

小善子娘

松平甚子娘

松平甚子娘

内目分

高川甚子娘

内目分

水甚子娘

源氏甚子娘

内目分

井上甚子娘

大目分

松平甚子娘

山下甚子娘

於身亦好

古氣之色 緋紅 似丹 方相 白 喜院 緋 類 如 中 後 一 若 年 喜 司 中 後 也

似身亦中後

丹 似 身 亦 中 後

似身亦中後

似身亦中後

拂子以細元以

似身又八前出

望喜院香

長安門丹山宮組

原香之世順

山山紅 似野古氣院前紅

若月自原元

似竹古香 似身 名代大之保山 似身 似身 似身

每身下川紅布 中川似紅布

似身亦中後

似身亦中後

似身亦中後

似身亦中後

似身亦中後

母所より
伯耆守より

對して

お奥より

對して

お奥より

右に在るは正に娘の婿の御方なり

馬場

母より

板倉
名代
板倉

母より

内膳
心無順

山崎
名代

山崎

山崎

中自

松平

真

母化
母友
母貞

父方

交代

後方

山崎

名代

交代

山崎

交代

山崎

未吉肥月与何之氏

志

助吉印堂子其願

中山勝吉印

名代日本白之卷

勝回其福子其願

新助其子其願

七肥元吉

名代其福子其願

勝其福子其願

市子其福子其願

勝其子其願

名代其福子其願

小其子其願

神谷其子其願

南其子其願

久之其子其願

中村久之其願

仙其子其願

高其子其願

今向其子其願

河平其子其願

赤井其子其願

名代其福子其願

招平其子其願

勝其子其願

排其子其願

市其子其願

富永其子其願

佐其子其願

市其子其願

小島山守

口人
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

氏名長田藤十郎
氏名長田藤十郎

小島山守

古原伊豆守経

作日成給事記

御中印書守の巻願

富田守方守印

名代守方守印

長岡守中守印

名代守方守印

村松守中守印

四郡守

御中印書守の巻願

市田守中守印

名代守方守印

口守中守印

市田守中守印

名代守方守印

石守中守印

名代守方守印

名代守方守印

脇田守中守印

武田守中守印

滝原守中守印

名代守方守印

大久保守中守印

三ノ井守中守印

藤野守中守印

名代守方守印

古原守中守印
守中守印

御中

守中守印

守中守印

後新橋

脇田

其

吉田

名代

内

名代

片

名代

種

名代

名代

名代

名代

山

名代

尾

山

直

柳

表

名代

永

名代

表

右

山

山

1202-1005/1006

石上良長

長清九郎

山崎元重

山崎元重

山崎元重

古石山ノ...

山崎四

山崎武

山崎元重

山崎元重

石上良長...

山崎元重...

山崎元重

山崎元重

古石山ノ...

山崎元重

山崎元重

山崎元重

山崎元重

右より... 竹尾

新橋
西川
口より

右より... 新橋

新橋
西川
口より

小笠原
左

小笠原

貞村

小笠原

新橋

小澤
野澤
古尾
尾村

口より

本山
中文

口より

高松
村松

左標

右より...

山部定介の書

可成り

大村と名付
村地有る
仍久同高八
大久保也

右邊合小善信未令細而三所由所由
とわらふ相ひたす所を頼む申す所は
中流に

今迄

四五匹

川田島

右口先津橋を直しつらむと云ふ所は

右口岸部中より中流に橋を築く所

相成り

相方の細い

入元野十郎
長谷川

右口河所流つらむ所は
とわらふ相ひたす所を頼む申す所は
中流に

相成り

云々の

信成り
名代所

右口先津橋を直しつらむと云ふ所は
とわらふ相ひたす所を頼む申す所は
中流に

日令...

一 後河原合川口橋渡し... 明日... 付...

梅...

二月...

甲辰八月...

今辰大進...

梅...

今辰...

右ハ被諾堂社... 納...

色帯... 物...

二月...

右...

晦日

伊代官

早川...

水...

菅...

